



広告

企画・お問い合わせ先
日経エージェンシー
TEL: 03-5259-5430

コロナ禍が長引く中、事業承継は大きな課題 事業の見直し・再構築への取り組みも求められる

2年以上に及ぶコロナ禍で経済活動が停滞して元々が減少しているところに、ウクライナ危機や円安がもたらす原油、人材不足などが重なって、小企業の経営環境は非常に厳しいものがある。政府が行なうべき「ゼロゼロ融資」で急場をしのいた企業も多いが、今はその返済も迫られる。経済や社会の状況がコロナ前に戻ることがないとすれば、中小企業が事業を継続し、将来に成長していくために、事業の見直しや再構築への取組みが不可欠といえる。

コロナ以前からの課題として、経営者の高齢化とともに違う事業承継問題がある。中小企業経営者たる後継者不在は、企業の平均年齢は徐々に上がってきており、それが引き継ぎ大きな課題といえる。後継者比率の一つには少子化がある。日本では経営者が子どもに事

業を引き継がせるケースが多くなった。だが、少子化によって、事業を引き継ぐ子どもがいるが事業を引き継がないといったことが起り、後継者選択肢。いわゆるM&Aなど、社内の人材であれば会社の経営方針を認めた上で候補を広げる必要がある。

自社の役員や従業員に引き継がせるのも一つの選択肢。ただし、候補者には社内の人材であれば会社の経営方針を認めた上で候補を広げる必要がある。

特に経営者が創業者の場合、社長が経営、財務・生産管理などを一

人で担っているケースは珍しくなく、管理会計と呼ばれる専門知識を有する場合には、こうした点を強みを活かし、弱みを克服するなどして会社の魅力を高めておかなければならぬ。事業承継全般の問題は、専門知識と経験で法人経営者の事業承継見直しはセフトといえるだろう。

事業の見直しには、外部の専門家のサポートを受けることよい。ここでも第三に会社や事業を売却するM&Aも増えており、譲渡の手配が重要な課題となる。経営革新等支援機関が専門知識と経験で法人経営者の事業承継を見直すことは、まだ割合が少ない。事業承継見直しも必要だ。

専門家の力を借りて経営課題を解決する

事業承継

税理士

30 選

voll.11

新型コロナ感染症の拡大は一時的に比べて落ち着きを見せていて、ものの、ウイズコロナがいつまで続くのかはわからない状況だ。コロナ禍の影響は業種や会社によって異なるが、日本の中企業には事業承継や事業再構築など共通した課題も多い。アドバイスを受けながら、それらの課題を解決していく必要がある。

した特例も利用できる。ただし、特例の適用を受けるには、23年3月31日までに都道府県に「特例準備計画」を提出しなければならない。その段階に当たつては、中小企業庁認定の選択肢。いわゆるM&Aなど、社内の人材であれば会社の経営方針を認めた上で候補を広げる必要がある。

特に経営者が創業者の場合、社長が経営、財務・生産管理などを一

人で担っているケースは珍しくなく、管理会計と呼ばれる専門知識を有する場合には、こうした点を強みを活かし、弱みを克服するなどして会社の魅力を高めておかなければならぬ。事業承継全般の問題は、まだ割合が少ない。事業承継見直しも必要だ。

専門家の力を借りて経営課題を解決する

中小企業の後継者不在率の推移
※出典：中小企業庁「2020年版中小企業白書」
は、経営者が子どもに事業を譲り受けている割合を示す指標で、2010年から2021年までの12年間で約4.5%減少している。
は、経営者が子どもに事業を譲り受けている割合を示す指標で、2010年から2021年までの12年間で約4.5%減少している。

企画・お問い合わせ先
日経エージェンシー
TEL: 03-5259-5430

コロナ禍が長引く中、事業承継は大きな課題 事業の見直し・再構築への取り組みも求められる

2年以上に及ぶコロナ禍で経済活動が停滞して元々が減少しているところに、ウクライナ危機や円安がもたらす原油、人材不足などが重なって、小企業の経営環境は非常に厳しいものがある。政府が行なうべき「ゼロゼロ融資」で急場をしのいた企業も多いが、今はその返済も迫られる。経済や社会の状況がコロナ前に戻ることがないとすれば、中小企業が事業を継続し、将来に成長していくために、事業の見直しや再構築への取組みが不可欠といえる。

コロナ以前からの課題として、経営者の高齢化とともに違う事業承継問題がある。中小企業経営者たる後継者不在は、企業の平均年齢は徐々に上がってきており、それが引き継ぎ大きな課題といえる。後継者比率の一つには少子化がある。日本では

は、経営者が子どもに事業を譲り受けている割合を示す指標で、2010年から2021年までの12年間で約4.5%減少している。

は、絏営者が子どもに事業を譲り受けている割合を示す指標で、2010年から2021年までの12年間で約4.5%減少している。

は、絏営者が子どもに事業を譲り受けている割合を示す指標で、2010年から2021年までの12年間で約4.5%減少している。